

## 2020 年度 事業報告

(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで)

### 1. 食物アレルギーに関する研究開発支援事業

#### (1) 2019 年度公募型研究助成事業の完了

2019 年度に実施した食物アレルギーに関する予防、診断、治療、対応食品等の研究開発に関する研究助成事業（共同研究 6 件・3,410 万円、個人研究 16 件・2,889 万円、期間：2019 年 4 月～2020 年 3 月）を完了した。研究成果報告書を纏め、当財団 Web 上での掲載及び冊子で公開するとともに、研究成果報告会を開催した。

##### 《研究成果報告会》

開催日：2020 年 10 月 13 日

場 所：AP 品川アネックス(東京都港区)

開催形式：口頭報告会を実施し、同時にリアルタイムで Web 配信（共同研究報告会）  
Web 会議方式（個人研究報告会）

参加者数：約 80 名（現地出席と Web 参加合計）

内 容：全課題の報告会を行った。「共同研究助成」は口頭報告会とし、「個人研究助成」は Web 会議方式による報告とした。「共同研究助成」では、異分野融合型の研究が進展し、社会実装を視野に入れた研究成果の創出を確認した。「個人研究助成」は若手研究者による研究活性化等、事業の意義を確認した。Web 併用となったが、集会方式時と変わらない活発な議論がなされ、研究者間の情報交換・交流を図る上でも有益な成果報告会であった。

#### (2) 2020 年度公募型研究助成事業の実施

食物アレルギーに関する科学技術の振興・促進を図り、当該分野の医療や食環境の改善に寄与することを目的とした研究助成事業において、2020 年度の助成先として採択された研究課題に対して以下の通り研究助成を実施した。

##### 《助成先等》

助成件数：23 件（共同研究 5 件、個人研究 18 件）

助成総額：6,139 万円（共同研究 2,750 万円、個人研究 3,389 万円）

助成先：別表 1 に記載

助成期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月

特記事項：2021 年度中に研究成果報告書の作成と公開（財団 Web サイトへの掲載、冊子の作成、成果報告会の開催）を行う。

### (3) 2021 年度公募型研究助成事業の推進

2021 年度公募型研究助成事業を推進し、公募、審査、助成先の決定を行った。

#### ア 主要日程

- ・ 2021 年度研究助成募集要項の策定（2020 年 6 月）  
研究助成委員会で提言のあった審査方法等に関する改善内容も考慮し策定した。
- ・ 公募（2020 年 7 月 10 日～9 月 30 日）
- ・ 第 1 回研究助成審査委員会（2020 年 10 月 13 日）
- ・ 第 2 回研究助成審査委員会（2020 年 12 月 11 日）
- ・ 助成先の決定（理事会決議：2021 年 2 月 1 日）
- ・ 通知（2021 年 2 月）
- ・ 覚書締結（2021 年 3 月）

#### イ 助成先等

- ・ 応募総数：43 件（共同研究 13 件、個人研究 30 件）
- ・ 助成件数：21 件（共同研究 5 件、個人研究 16 件）
- ・ 助成総額：6,140 万円（共同研究 3,000 万円、個人研究 3,140 万円）
- ・ 助成先：別表 2 に記載
- ・ 助成期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

### (4) 学会等を通じた学術振興支援及び情報発信

財団の事業に有益な研究や行政動向に関する情報収集とともに、財団のパブリックリレーション活動の一環として、以下の学会に参加または広告掲載等を行った。

医学関係：日本小児アレルギー学会、食物アレルギー研究会

食品関係：日本栄養・食糧学会、日本農芸化学会

※参加を計画したその他の学会はコロナウイルスの影響で中止または延期となった。

また、食物アレルギー研究会においては共催セミナーを実施した。

#### 《食物アレルギー研究会での共催セミナー》

実施日：2021 年 2 月 25 日～3 月 16 日

方式：Web 開催（オンデマンド配信）

共催：第 21 回食物アレルギー研究会

演者 1：高橋亨平 先生（国立病院機構相模原病院 小児科）

演題 1：「食物アレルギーの診療の手引き 2017」Q&A の解説

演者 2：林 典子 先生（十文字学園女子大学 准教授）

演題 2：「食物アレルギーの栄養食事指導の手引き 2017」Q&A の解説

参加者：838 名（食物アレルギー研究会参加者）

## 2. 食物アレルギーと向き合う人々のQOL維持・向上を目指した啓発・支援活動

### (1) 「第6回食物アレルギー対応食 料理コンテスト」表彰事業の実施

食物アレルギーに向き合う方の健全で豊かな食生活に寄与するために、食物アレルギーに配慮した創作型料理（アレルゲン除去食、代替食）を公募し、専門家で構成する審査委員会で優良作品を選考するコンテスト事業を継続実施した。当事業は、家庭等で工夫された料理技術の伝承、アレルギーに関する意識喚起、教育機会の創出等を目的としている。

昨年度と同様、一般の部と学生の部に分けて募集。対象料理は、主食・主菜・副菜・おやつ・デザート等のジャンルを問わず募集したが、今年度より一般の部の応募条件を「卵、乳、小麦の3品目」を使用しないことに変更した。

#### ア 主要日程と受賞数等

- ・2020年度募集要項の策定（2020年6月）
- ・公募（2020年7月1日～10月10日）
- ・第1回審査委員会（2020年11月6日）
- ・第2回審査委員会（2021年3月14日）
- ・受賞作品の決定（理事会決議：2021年3月23日）
  
- ・応募総数：992件
- ・事務局による一次審査通過数：100件（両部門合計）
- ・審査委員会（書類選考）による二次審査通過数：20件（両部門合計）
- ・審査委員会（試食審査）による最終審査結果：

最優秀賞1件	（各部門それぞれ）
優秀賞1件	（各部門それぞれ）
審査委員特別賞4件	（各部門それぞれ）
入賞4件	（各部門それぞれ）

なお、今回は簡単レシピ・独創的なアイデア・一品でおなかを満たす、といった観点で高い評価を受けた作品にはそれらの特徴を表彰状に明記した。

受賞作品名は別表3に記載

#### イ 受賞作品の情報公開及び表彰式の開催

##### (ア) 第5回コンテストの表彰式

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応して延期した2019年度第5回コンテストの表彰式をバーチャル形式で実施した。

##### (イ) 第6回コンテストの表彰式

2020年度第6回コンテストの表彰式は、今年度内（3月）に、審査委員特別賞以上の受賞者と来賓を迎えて表彰式を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、来年度に延期することとした。但し、できるだけ早く受賞者の栄誉を称

えるため、3月中に当財団 Web 上で結果を速報し、4月中に受賞作品の情報（作品名、写真、受賞者名、審査委員コメント）を公開した。なお、受賞作品のレシピ、調理法（動画）の Web 上での公開、レシピ集の作成などは当初の予定通り 2021 年度に行い、成果物の普及活動に取り組む予定である。

#### ウ 優れた作品の再発見プランの遂行

試食会の開催が出来ず、過去 3 回の一次通過作品から優れた作品を再発見する計画は完遂に至らなかった。しかし、候補の 15 品内、6 作品については料理を再現し実食評価を終えている。2021 年度に情報公開を行う予定である。

### (2) 食物アレルギーセミナー及び設立 5 周年記念フォーラムの実施

栄養士や食従事者を主な対象として、食物アレルギーに関する診断・治療・栄養指導・事故予防等に関するセミナーを完全 Web 方式で行った。岡山会場では、藤田医科大学ばんだね病院小児科教授の近藤康人先生より「食物アレルギー安全管理と対応法」に関する特別講演を、別府大学食物栄養科学部教授 高松 伸枝先生より「食物アレルギー栄養食事指導のポイント」についてご講演いただいた。東京、福島会場では、特別講演を藤田医科大学客員教授の宇理須厚雄先生に「食物アレルギー対応最近の考え方」に実施いただいた。最新情報を盛り込んだ講演は極めて好評であった。また、講演後の座談会（質疑応答）は、聴講者が日常現場で抱えている課題に関して、先生とともに解決するという趣旨で実施したが、有意義な会となった。なお、今年度も継続して、(公社)日本栄養士会の「生涯教育認定制度」の運用（受講者の単位取得）を実施した。

#### 《開催日程》

岡山会場：2021 年 1 月 24 日（外部講師：近藤 康人先生、高松伸枝先生）

東京会場：2021 年 2 月 7 日（外部講師：宇理須厚雄先生、高松伸枝先生）

福島会場：2021 年 3 月 23 日（外部講師：宇理須厚雄先生、高松伸枝先生）

#### 《開催形式》

全会場、完全 Web 方式（緊急事態宣言の発出により、Web 併用方式から切り替え）

3 会場での参加者数は 1,314 名であった。Web 方式とすることで、一会場当たりの上限数を増やすことができ、前年度（集会方式で年間 5 会場）より多くの方に参加いただくことが出来た。5 周年記念フォーラムと銘は打たなかったが、東京会場の講演の中で、「設立 5 周年の歩み」という副題をつけて当財団活動を紹介した。

その他、啓発活動の一環として、大学等からの依頼により、栄養士や学生を対象として、食物アレルギーに関する栄養指導を含む基礎知識、当財団活動等について講演を実施した。

### (3) 団体活動支援助成の実施

全国の市民、民間団体等が行う食物アレルギーに係る問題解決を目指す諸活動（教育、調

査研究、啓発物の作成等)を支援する目的で助成事業を行った。公募制により課題を募集し、理事会にて審査基準に基づき、公益性、実現可能性、社会への波及効果等を評価し、助成の可否決定を行った。なお、助成先の不定期的な計画化に対応するため、今年度も2期に分けて実施した。

#### ア 主要日程と助成先

- ・公募 第一期：2020年4月1日～4月23日  
第二期：2020年7月31日～9月4日
- ・助成先の決定 第一期：2020年5月14日、第二期：2020年10月1日
- ・助成期間 第一期：2020年7月1日～10月31日  
第二期：2020年11月1日～2021年3月31日
  
- ・助成件数：7件（第一期・5件、第二期・2件）
- ・助成総額：335万円（第一期・217万円、第二期118万円）
- ・助成先：別表4に記載

#### イ 成果報告会の開催

料理コンテストの表彰式と同日開催を予定していたが、コロナウイルス対応で表彰式を2021年度に延期したため、成果報告会も延期した。

### 3. 地域社会、産業と連携した食物アレルギー対応力向上に向けた取組み

#### (1) 事業成果物の普及活動の推進

##### ア 啓発物の普及

2015年度に制作し全国の小学校、公立図書館に寄贈した「食物アレルギー」を主題にした啓発本「食物アレルギーのひみつ」について、年間4回のプレゼントキャンペーンを継続すると共に、季節性イベントに合わせたキャンペーンを追加して実施した。また、小冊子については、主催セミナー、各種の講演会等にて配布した。

##### イ 料理コンテスト事業における入賞作品のレシピ等成果物の普及

コンテスト受賞作品の社会での活用を目的に、レシピを普及する活動を推進した。第5回コンテスト受賞作品の料理動画を作成し、当財団のWebサイト上で無料公開を行った。公開した料理動画は、第1～5回コンテストを合計して102品となった。また、第5回コンテスト受賞作品のレシピ集を作成し、各種セミナー等で配布した。

#### (2) 事業成果物の啓発書籍作成に関する企画

当財団が保有する受賞レシピをより活用しやすくするため、Webサイト上に「レシピ検索機能」を実装することを計画、着手した。

### (3) 行政等のソーシャルセクターとの連携（厚生労働省等）

厚生労働省の補助事業として（一社）日本アレルギー学会が運営するアレルギー情報ポータルサイト（アレルギーポータル）に当財団の制作物や主催セミナー情報を継続的に掲載いただいている。

### (4) 社会と連携した教育活動の支援、専門知識を有す食従事者養成を目的とする活動の支援

- ・当財団の食物アレルギーセミナーが、（公社）日本栄養士会が主催する「食物アレルギー管理栄養士・栄養士認定制度」の資格更新単位認定セミナーとなった。
- ・大学からの委嘱を受け、栄養学の講座にて、食物アレルギーに関する基礎知識、栄養指導等の最新情報、エピソードレーニング等の講義を実施した。

## 4. 財団の認知度や理解向上のための取り組み

### (1) Web サイトを活用した情報発信

財団の広報、情報公開における有用なツールであるため、コンテンツの充足、刷新に努めた。中でも、当財団に届く声を基に、「教育用イラスト集」を作成し、無償で公開した。

### (2) 学会その他の展示ブースを活用した財団紹介

新聞等の媒体の活用、学会等での展示、各種講演等により財団の認知、知名度の向上を図った。事業の節目で、メッセージ性を判断して、6回のニュースリリースを実施。多数の記事掲載実績を得た。

## 5. 財団運営

- (1) 公益法人運営の基本原則（遵法、情報開示、ガバナンス）を重視した健全運営を継続すべく、機関決定及び業務執行を行った。

機関運営を別表5に記載

- (2) 運営に万全を期すために、継続して外部ブレイン（税理士法人、司法書士、公益法人協会、助成財団センター、ITコーディネーター等）を活用した。
- (3) 事業成果が社会に与えるインパクトや影響に関する評価とフォローアップを継続実施した。
- (4) 寄附文化の醸成を目指した全国的な啓発活動に参加し、寄附金募集の広報を行った。

以上

別表1 2020年度 公募型研究助成課題一覧

## 【共同研究助成(5件)】

	氏名	所属機関	課題名
1	安達 貴弘	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 准教授	食物アレルギーにおける免疫記憶の機序解明 およびその制御法の開発
2	沖嶋 直子	松本大学 人間健康学部健康栄養学科 専任講師	主要アレルゲン Mal d 1 の日本産リンゴ品種 における定量および経口負荷試験結果を基に した食事指導への展開
3	野口 恵美子	筑波大学医学医療系 教授	小麦アレルギーの包括的ゲノム関連解析と T 細胞エピトープの同定
4	橋本 博行	三重短期大学 教授	給食施設での調理時の小麦アレルゲン混入り スクに関する研究
5	松本 健治	国立成育医療研究センター 研究所 免疫アレルギー・ 感染研究部 部長	食物に対する経消化管感作の機序、特に IL-25 の役割の解明

## 【個人研究助成(18件)】

	氏名	所属機関	課題名
1	池ノ内 順一	九州大学大学院 理学研究院 教授	消化管上皮細胞のタイトジャンクションの人 為的強化法の開発
2	梅本 英司	静岡県立大学薬学部 免疫微生物学 教授	腸内細菌由来の代謝物による経口免疫寛容誘 導機構の解析
3	岡田 祐樹	昭和大学医学部 小児科学講座 講師	小麦アレルギー経口免疫療法における維持期 の摂取回数と耐性獲得との関係
4	荻田 佑	信州大学先鋭領域融合研究 群バイオメディカル研究所 助教	腸細菌 <i>Flavonifractor plautii</i> によるアレル ギー予防メカニズムの解明
5	河原 隆浩	広島大学大学院医科系科学 研究科免疫学 大学院生	経皮感作食物アレルギーモデル確立と脂肪酸 摂取によるアレルギー制御
6	小谷 仁司	島根大学医学部医学科 免疫学講座 講師	制御性 T 細胞の分化制御に関わる核内受容体 に作用する食品由来成分の探索と有効性解析
7	佐藤 賢哉	公益財団法人実験動物中央 研究所 マーモセット医学 生物学研究部 研究員	コモンマーモセットを用いた食物アレルギー モデルの確立と前臨床評価系への応用

8	清水 裕	北海道大学大学院 水産科学 学研究院 技術専門職員	メイラード反応が魚肉アレルギーの消化・吸収性に及ぼす影響の解明
9	杉浦 至郎	あいち小児保健医療総合センター アレルギー科 医長	複数の重症食物アレルギーを有する児に対する同時緩徐微量経口免疫療法 Simultaneously slow low dose oral immunotherapy: SSLOIT (wSLOIT)
10	中野 泰至	千葉大学医学部附属病院小児科 助教	乳児期のビタミン D 投与によるアレルギー予防に関する研究開発
11	野村 孝泰	名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学 病院 助教	胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明
12	濱野 翔	杏林大学医学部付属病院小児科学教室 助教	Food protein induced enterocolitis syndrome の診断における血清 TARC 値の有用性に関する研究
13	春里 暁人	京都府立医科大学 消化器内科学 助教	食物アレルギー予防を目指した食品成分による腸内環境制御法の開発
14	牧田 英士	自治医科大学附属さいたま医療センター小児科 助教	少量経口負荷試験による食物アレルギー児の保護者の不安軽減効果の検討
15	松本 健次郎	京都薬科大学 准教授	温度感受性 TRPV4 チャンネル制御による食物アレルギー予防方法の検討
16	森田 英明	国立成育医療研究センター 研究所 免疫アレルギー・感染研究部 室長	重症消化管アレルギーの病態解明
17	森 雄司	藤田医科大学ばんだね病院 小児科 助教	重症果物アレルギーの感作機序に関する研究
18	山下 弘高	琉球大学大学院医学研究科 薬理学講座 准教授	食物アレルギーにおける経皮感作と経口免疫寛容のバランスの解明

※50 音順、敬称略、所属等は 2020 年 4 月時点

別表 2 2021 年度 公募型研究助成課題一覧

【共同研究助成 (5 件)】

	氏名	所属機関	課題名
1	安達 貴弘	東京医科歯科大学 難治疾患研究所・未病制御学 准教授	食物アレルギーにおける免疫記憶の解明およびその制御法の開発



2	大矢 幸弘	国立成育医療研究センター アレルギーセンター アレルギーセンター長	鶏卵アレルギー児に対する経口免疫寛容を誘導するための安全性の高い摂取法の開発-ランダム化比較試験
3	松尾 裕彰	広島大学 病院薬剤部 教授	Amplified Luminescence Proximity Homogeneous Assay (ALPHA)法を用いた食物アレルギーの新規検査法の開発
4	松本 健治	国立成育医療研究センター 研究所 免疫アレルギー・ 感染研究部 部長	食物に対する経消化管感作の機序、特に IL-25 の役割の解明
5	丸山 伸之	京都大学大学院農学研究科 教授	「花粉関連食物アレルギー症候群」における原因抗原のエピトープ構造解析と低アレルゲン化食品の開発基盤

【個人研究助成(16件)】

	氏名	所属機関	課題名
1	赤川 翔平	関西医科大学医学部小児科学講座 助教	小児の食物アレルギーと腸内細菌叢の関連
2	伊沢 久未	順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター 助教	脂質を認識するペア型免疫受容体による食物アレルギーの病態制御機序の解明と予防・治療法開発
3	市 育代	お茶の水女子大学基幹研究院 講師	高度不飽和脂肪酸欠乏による食物アレルギー応答の制御変化と機序の解明
4	鶴川 真実	摂南大学 特任助教	膜透過ペプチドを側鎖に持つ高分子のアレルギー根治療法への展開
5	川本 典生	岐阜大学医学部附属病院 小児科 講師	食物アレルギー診断技術向上と抗原改変食品作成を目標とした IgE の構造エピトープの解析
6	清水 裕	北海道大学大学院水産科学研究 技術専門職員	甲殻類アレルゲンの消化性と消化管吸収動態に及ぼすメイラード反応の影響
7	高里 良宏	あいち小児保健医療総合センター 医長	固形物による食物誘発性胃腸症 (FPIES) の機序解明
8	田中 孝之	京都大学大学院医学研究科 客員研究員	鶏卵アレルギー小児の長期的観察による食物アレルギー寛容誘導機序の解明
9	田中 志典	東北大学 助教	食物アレルギーに対する舌下免疫療法の効果増強法の開発

10	中野 泰至	千葉大学医学部附属病院 小児科 助教	乳児期のビタミン D 投与によるアレルギー予防に関する研究開発
11	西 甲介	愛媛大学 准教授	魚油由来脂肪酸による食物アレルギー予防効果の実証と、そのメカニズムの解明
12	野村 孝泰	名古屋市立大学大学院医学 研究科 新生児・小児医学 助教	胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明
13	藤田 真弓	神奈川県立こども医療センター アレルギー科 シニアレジデント	ピーナツ経口免疫療法の維持期における最適な維持方法の探索
14	森田 英明	国立成育医療研究センター 研究所 免疫アレルギー・ 感染研究部 室長	重症消化管アレルギーの病態解明
15	山下 弘高	琉球大学医学研究科 薬理学講座 准教授	食物アレルギーにおける経皮感作と経口免疫寛容のバランスの解明
16	横田 雅也	千葉大学医学部附属病院ア レルギー・膠原病内科 助教	食物抗原に対する経口免疫寛容の誘導における腸管常在好酸球の役割の解明

※50 音順、敬称略、所属等は 2021 年 4 月時点

別表 3 第 6 回食物アレルギー対応食 料理コンテスト 受賞作品一覧

【一般の部(10 件)】

受賞名	料理名	氏名/ニックネーム/ グループ名	都道府県
最優秀賞 (簡単)	えらんで楽しい マメなアイスクリームやさん	MK さん	愛媛県
優秀賞 (プロ級)	ウフ・ふ・フラン	穂野果菜おやつとごはん 幸房*空-kuu-/吉本仁子 (くう*) さん	和歌山県
審査委員特別賞 (1 品で満腹・ 簡単)	発酵いらず あっ!というまん	Megumi さん	北海道
審査委員特別賞	カリッカリ!大豆パフで プレミアム中華風唐揚げ	LISA さん	東京都
審査委員特別賞	バナナと白花豆の白いクレープ	てんちゃん さん	大阪府
審査委員特別賞	飾って楽しいお野菜ゴロゴロ おからのサラダ	ぶりてりあ さん	長野県

入賞	笑顔でかぶりつき! モチモチとろーりハムチーズブリト ー	野村みゆき さん	茨城県
入賞	カリカリコーヤとさっぱりトーガンの 出会い	池原綾子 さん	静岡県
入賞	卵、小麦粉不使用!ふっわふわ! TOFU たこ焼き	ぶりてりあ さん	長野県
入賞	野菜だけの焼麻婆	水谷早百合 さん	三重県

【学生の部(10件)】

受賞名	料理名	氏名/ニックネーム/ グループ名	学校名	都道府 県
最優秀賞 (1品で満腹)	インド風 米豆まきまき ラップ	武蔵野研究室/ 矢島 葉月 さん・増 田 真也 さん・ あしざわ ゆみこ さ ん・ 大戸 冴葉子 さん・ 金田 真奈美 さん・ 清水 裕加 さん	武蔵野栄養専門 学校	東京都
優秀賞 (プロ級)	ママからの贈り物	sunflowers/ 吉田 梨紗 さん・森 岡 莉子 さん	名古屋学芸大学 管理栄養学部	愛知県
審査委員特別賞	特定原材料 27/28 不使用! ～ほぼフリーなピョパテ チーマフィン	河内 鈴乃 さん	広島酔心調理製 菓専門学校	広島県
審査委員特別賞 (簡単)	レンコンいっぱい! しっとりレンコンブラウ ニー	門真レンコン応援隊 / 高松 咲佳 さん・的 場 章紘 さん	大阪国際大学	大阪府
審査委員特別賞	みんな一緒に令和2年の年 越し天ぷらそば	大森家/ 磯田 奈那 さん・山 岡 美幸 さん (大森ゼミナール)	愛知学泉短期大 学 生活デザイン総 合学科	愛知県
審査委員特別賞	みんなで食べよう! アレルギー対応スポンジ ケーキ	池田 美沙 さん	相模女子大学短 期大学部	神奈川 県

入賞	きみはかぼちゃ!肉巻き卵	櫻井 優衣 さん	龍谷大学	滋賀県
入賞	3色のカラフル米粉餃子	彦坂 礼美 さん	名古屋スイーツ &カフェ専門学校	愛知県
入賞	ハロウィンにぴったし!!! HOKUHOKU パンプキンのな んちゃって モンブラン	AFO/ 垣内 楓香 さん・伊 藤 愛香 さん・ 幾島 朱星 さん(大 森ゼミナール)	愛知学泉短期大 学 生活デザイン総 合学科	愛知県
入賞	優しい甘さのかぼちゃシ チューポットパン ふわふわ豆腐ハンバーグ 入り♪	森島 萌々香 さん	名古屋女子大学	愛知県

※敬称略

別表4 2020年度 団体活動支援助成課題一覧

【第一期 (5件)】

	企画活動名	団体名	代表者名
1	医療機関から配布する食物アレルギーサイ ンプレートの普及活動	NPO 法人ピアサポート F. A. cafe	服部 佳苗
2	学校・園の食物アレルギー対応の向上、保健 指導の充実を図る研修会事業	特定非営利活動法人アレルギー を考える母の会	園部 まり子
3	食物アレルギー体験談ディスカッション シ ャべり場 in 大阪&千葉 (オンライン)	特定非営利活動法人千葉アレ ルギーネットワーク	下条 直樹
4	第5回ふくおか食物アレルギー攻略法講座 (講演会・試食会) 一園/学校生活攻略法お よび災害時に生き抜く方法お教えします2 —	特定非営利活動法人福岡食物 アレルギーネットワーク	柴田 留美子
5	日本の外国人労働者の子ども向けに食物ア レルギー紙芝居「しょくもつアレルギーのこ をまもる こうちゃんせいじん☆あらわる」 の動画を英語訳に制作し広める	ウサギクラブ子育て支援サー クル	加藤 美奈子

【第二期（2件）】

	企画活動名	団体名	代表者名
1	アレルギーっ子が考えた『アレルギーってなんなん？』カードプロジェクト	LFA 食物アレルギーと共に生きる会	大森 真友子
2	子どもに関わる施設の食物アレルギー対応や保健指導の充実を図る研修事業 (東北、熊本の地震、豪雨災害の被災地を中心に)	特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会	園部 まり子

※企画活動名の50音順、敬称略

別表5 2020年度 機関運営

	日付	会議名	主な議題
1	5月14日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度計算書類・事業報告の承認</li> <li>・定時評議員会の招集の決定</li> <li>・審査委員会委員の選任</li> <li>・2020年度第一期団体活動支援助成 助成先の決定</li> <li>・2020年度事業進捗状況の報告</li> <li>・理事候補について</li> <li>・評議員候補について</li> <li>・評議員の退任について</li> </ul>
2	6月5日	定時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度計算書類・事業報告の承認</li> <li>・役員を選任</li> <li>・評議員の選任</li> <li>・2020年度事業計画及び収支予算書等の報告</li> </ul>
3	6月12日	第2回理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事の選定</li> <li>・業務執行理事の選定</li> </ul>
4	10月1日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度第二期団体活動支援助成 助成先の決定</li> <li>・代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告</li> <li>・2020年度事業進捗状況の報告</li> <li>・その他</li> </ul>
5	11月5日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事（理事長）の退任について</li> <li>・代表理事（理事長）の選定について</li> <li>・評議員会の招集について</li> <li>・理事候補者について</li> <li>・その他</li> </ul>

6	11月27日	第2回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事（理事長）の交代について</li> <li>・理事の退任について</li> <li>・役員を選任について</li> </ul>
7	12月22日	第5回理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事（副理事長）選定の件</li> <li>・決議の省略による評議員会決議の提案の件</li> <li>・常勤理事の定例報酬の額について</li> </ul>
8	1月12日	第3回評議員会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤理事の定例報酬の額の決定の件</li> </ul>
9	2月1日	第6回理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度公募型研究助成事業における採択候補課題の決定について</li> </ul>
10	3月4日	第7回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度事業計画について</li> <li>・2021年度収支予算について</li> <li>・2021年度資金調達及び設備投資の見込みについて</li> <li>・決議の省略による評議員会決議の提案の件</li> <li>・代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告</li> <li>・研究助成審査委員会からの答申内容について</li> <li>・監事の退任について</li> <li>・監事候補について</li> <li>・その他</li> </ul>
11	3月23日	第8回理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第6回食物アレルギー対応食 料理コンテスト」受賞作品の決定について</li> </ul>

付属明細書に記載する事項無し

以上